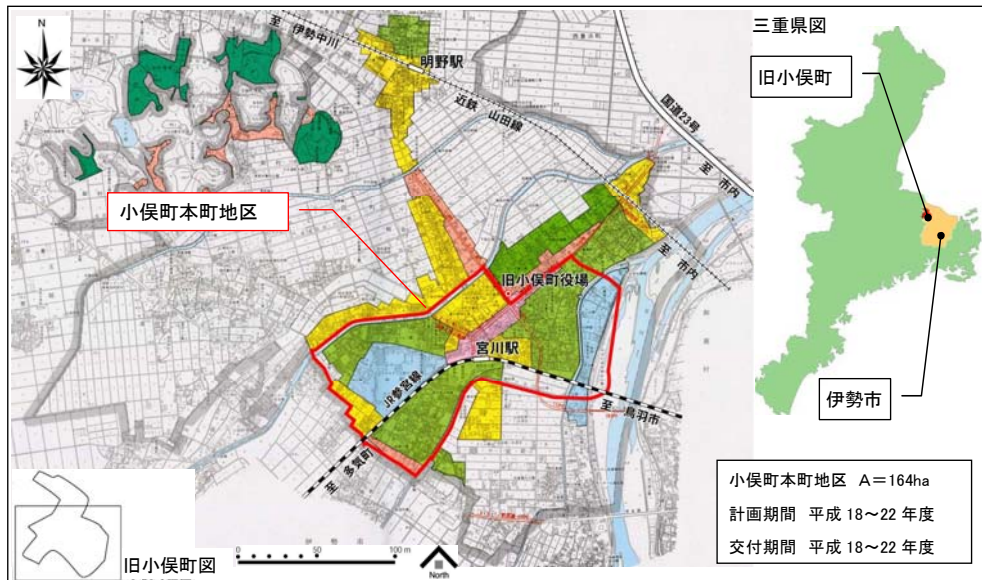


小俣町本町地区 都市再生整備計画事業概要

1. 地区概要



2. まちづくりの課題と目標・整備方針

まちづくりの課題

伊勢市小俣町の顔である中心市街地、かつての参宮街道の宿場町としての賑わいを取り戻し、良好な居住環境と防災に対応した安全なまちづくりが緊急の課題である。

課題1:

入り組んだ道路構成と狭隘道路により、円滑な駅へのアプローチが確保されておらず、良好な居住環境としても防災に対する安全性の確保が求められる。

課題2:

河川に囲まれた当地区の管理橋梁の現状把握は、災害活動時において安全な幹線ルートの確保のため、急務である。

課題3:

中心市街地の衰退及び歴史的資源・継承者の消失。

まちづくりの目標

《大目標》

歴史的資源を活用したまちづくりの推進と、安全安心で防災機能の高い中心市街地の再生

目標1: 駅周辺の道路環境の整備により、駅への円滑なアプローチを確保し、中心市街地の活性化と鉄道の利用促進を図る。

目標2: 中心市街地につながる主要橋梁の点検など交通環境の改善により、安全で防災機能の高い中心市街地の形成を図る。

目標3: 歴史的資源を活かし小俣らしさを創出するため、市民参画によるまちづくりを推進する。

まちづくりの方針

方針1:

中心市街地の活性化と鉄道の利用促進

方針2:

安全で防災機能の高い中心市街地の形成

方針3:

歴史的資源を活かした市民参画によるまちづくりの推進

3. 事業内容

事業名	細項目	最終変更計画		評価時完成状況		
		事業費(百万円)	事業内容	完成	完成見込み	
基幹事業	道路	下卯起宮川駅野依橋線	930.4	L=288m		●
		市道小俣12号線	66.3	L=115m	●	
		市道小俣1号線	70.0	L=40m		●
	公園	離宮院公園	16.2	A=25,000㎡		●
提案事業	高質空間形成施設	サイン設置	5.0	2基		●
	地域創造支援事業	五十鈴橋 他6橋	3.4	N=7橋	●	
	事業活用調査	本町地内公道	3.4	L=60m	●	
関連事業	まちづくり活動推進事業	—	6.2	—		●
	水辺の学校整備事業	宮川親水公園	106	—		事業完了
	近畿自然歩道	町内	6	—		事業完了
	町道19号線整備事業	町道19号線	111	—		事業完了
	まちづくり総合支援事業	歴史回廊整備事業(汁谷川)等	878	L=1,990m		事業完了
	地方道路交付金事業	市道小俣元町46号線整備事業	200	L=200m		事業完了
	地方道路交付金事業	市道小俣19号他1線整備事業	200	L=100m		事業完了
	防衛施設周辺民生安定施設整備事業	市道小俣1号線整備事業	103	L=448m		事業完了
	埋蔵文化財調査事業	離宮院跡	—	—		事業継続中

※事業内容については裏面の「整備方針概要図」でも確認できます。

交付対象事業費 1,104百万円

4. 目標を定量化する指標(数値目標)

■ 宮川駅乗車人数減少率

(JR参宮線宮川駅の1日当りの乗車人数の減少率)
・道路環境等の整備により、駅への円滑なアクセス改善を図り、減少傾向にある公共交通機関の利用促進を目指す。

平成22年度目標:0%
(平成15年度実績:△8%)

■ 狭隘道路率

(当地区における狭隘道路(W=5.5m以下)率)
・交通環境・防災機能・安全性を高めるため、狭隘道路率の減少を目指す。

平成22年度目標:36.9%
(平成15年度実績:37.4%)

■ 離宮院公園入込客数

(離宮院公園の年間利用者数(人))
・駅周辺の道路環境の改善やサイン整備などにより、公園利用者数の増加を目指す。

平成22年度目標:3,100人/年
(平成16年度実績:2,970人/年)

■ 公道等の未改良延長の減少

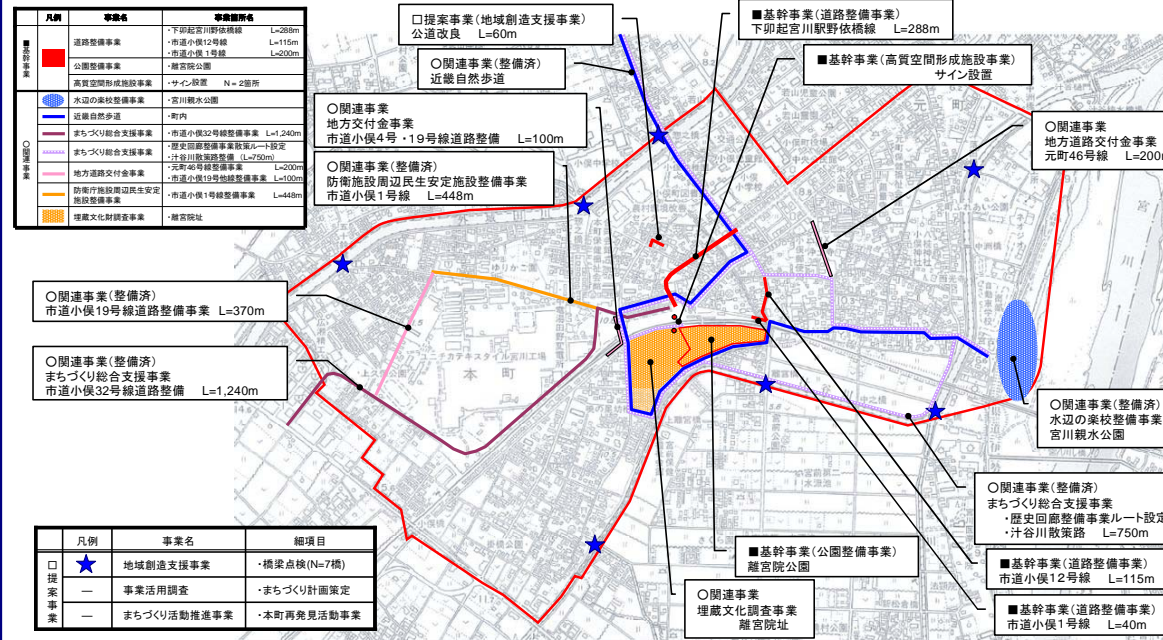
(当地区内における市道認定を受けていない公道、私道で4m未満の道路延長の減少を図る)
・計画地区内の狭隘な生活道路及び入り組んだ道路構成により、緊急車両等の進入できない交通環境を改善することで、非常時にも安心できる安全安心なまちづくりを目指す。

平成22年度目標:99%
(平成18年度実績:100%)

小 俣 町 本 町 地 区 事 業 成 果

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
歴史的資源を活用したまちづくりの推進と、安全安心で防災機能の高い中心市街地の再生	宮川駅乗車人数減少率	△8% H15	0.0% H22	4% H22
	狭隘道路率	37.4% H15	36.9% H22	36.9% H22
	離宮院公園入込客数	2,970 人/年 H16	3,100 人/年 H22	1,245 人/年 H22
	公道等の未改良延長の減少	100.0% H18	99.0% H22	98.9% H22

整備方針概要図



高質空間形成施設「サイン設置」

Before

サイン設置イメージ

まちづくり活動推進事業「本町再発見活動事業」

参宮市街角美術館出張店舗

実行委員会風景

花壇の整備風景 JR 宮川駅正面口横

離宮院公園清掃風景

道路「下卯起宮川駅野依橋線」

Before

After

道路「市道小俣12号線」

Before

After

道路「市道小俣1号線」

地域創造支援事業「公道改良」

実施過程の評価項目	実施内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針
モニタリングの実施状況	伊勢市勢統計要覧による宮川駅年間乗客数のモニタリング	予定はなかったが実施した	【実施頻度】毎年度1回 【実施時期】毎年度★4月 【実施結果】目標とする指標について交付期間中の変化を確認することができた。	毎年度の本市の統計要覧により確認する。
	事業実施済み延長の把握による狭隘道路率や道路未改良率のモニタリング	予定はなかったが実施した	【実施頻度】交付期間中1回 【実施時期】平成21年度 【実施結果】目標とする指標についてモニタリング時点での目標達成状況及び見込みを確認することができた。	平成23年度のフォローアップ調査時の事業完了延長を確認する。
住民参加のプロセスの実施状況	市民公募型まちづくり活動支援事業	予定どおり実施した	【実施頻度】平成19年度以降毎年度 【実施時期】毎年度7月～3月 【実施結果】離宮院公園や官舎神社参道等を活用した、地域住民のコミュニティ形成のための参宮市等の催しの実施など、住民や商工会が主体となる取組が定着しつつある。	平成22年度も継続的に実施するとともに、交付期間後も市民主体の取組が持続するよう、有効な方策を検討する。
持続的なまちづくり体制の構築状況	小俣の魅力(歴史的資源等)を再発見し、活かし方や問題点を認識することにより、継続的なまちづくりやまちづくりを推進するための人材づくりにつながるよう、取組を支援する。	予定どおり実施した	【体制構築に向けた取組内容】 本町再発見活動事業により、市民公募型手法による、まちづくりへの主体的取組を支援し、商工会を中心とした地域住民参加型の活動を促進する環境を確立した。 【組織名】小俣町商工会 地域経済の活性化や、地域の特産品・地域資源を活用し地域の元気づくりに取り組む組織	平成22年度も継続的に実施するとともに、交付期間後も住民参加型の取組が持続するよう、有効な方策を検討する。